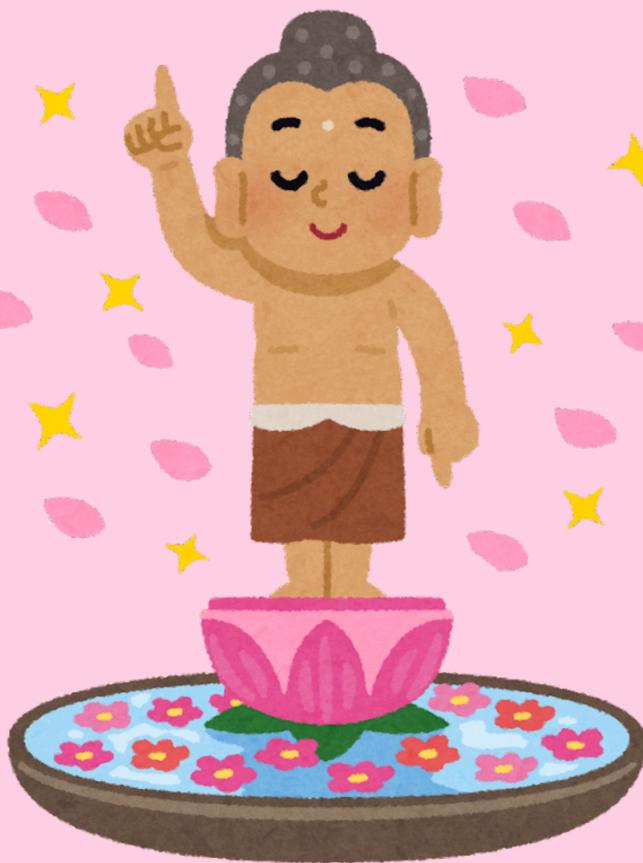


🐘 花まつり 🐘

抹茶接待



縁儀



缶バッジ

お念珠づくり



花まつり参加者募集

灌仏



花まつりは、お釈迦さまのご誕生を祝う仏教行事です。
本山興正寺では、毎年春の法要において花まつりをお祝いします。
ご家族そろって花まつりに参加してみたいはいかがでしょうか。

日時 令和8年4月25日（土）14：00～15：30 ※受付13：00

会場 京都市下京区堀川通七条上ル 本山興正寺 13：20までに教化センターリテラス
で受け付けを済ませてください。

対象 4歳～12歳 定員20名 ※定員になり次第終了いたします。

内容 花まつり法要の時に、献灯・献花・献香・灌仏を担当していただきます。

服装 私服に単輪数珠。

申込 QRコードからお申し込みください。

連絡先 TEL 075-371-0075

無料



申込QRコード

本山興正寺

春の法要

朝座 ⑩時
昼座 ⑭時

第27世本寂上人150回忌法要

4月23日（木）・24日（金）

親鸞聖人御誕生会・花まつり

4月25日（土）

御堂法話 布教使 三木秀海

本寂上人150回忌法要で如法念仏作法が勤まります

4月23日(木)14時

4月24日(金)14時

如法念仏作法とは

浄土系の念仏会式の形態のひとつであり、念仏を中心に讃を称え、懺悔を行う作法です。仏座の周囲を繞道し浄土を願生する法会の規式が示された善導大師の『法事讃』に依っていますが、『法事讃』での『阿弥陀経』の読誦を「八句念仏甲・乙」等の念仏に置き換え、懺悔には『往生礼讃』の文を用いて勤められます。

具体的な次第は、主として召請讃・三礼・三奉請・召請偈・八句念仏甲乙・広懺悔・略懺悔・悲喜交偈・三礼文の順となっています。現在よく唱えられている先請伽陀や三奉請などには、この如法念仏作法の「召請讃」の譜が用いられており、如法回向も、この作法から取り入れられたものです。

如法念仏作法の歴史

如法念仏は、法然上人の時代より別事念仏の一形式として勤められていたことが窺われ、室町期にはおおむね現在の形式が出来上がっていたようです。西本願寺では、江戸時代より宗祖の御遠忌に勤められており、興正寺においても文久元年（1861）に桃園天皇百回忌において如法念仏が勤められ、それ以後、度々法要で用いられています。以後、声明集などには収録されてきましたが、本山の法要で勤められるのは昭和56年の本寂上人七回忌以来のこととなります。

天台声明の伝統を多く残している興正派においては、〈如法念仏作法〉は伝承していきたい法会作法のひとつです。